

明日を創る 未来を拓く

うるおいと逞しさに満ち溢れる
郷土を目指して

丸井ゆたかの 県政レポート

平成21年度活動報告



子どもの明るい未来のために ゆたかさと安心を実現できる 元気な青森県を目指して

気軽な出会いからの対話。
気取りのない本音の話。
明日に託する大きな夢。
それに基づく行動を通じ、
初心を忘れずに常に皆様と本音で、
語り合い、感謝、行動。
全力で将来の青森のため、
十和田市のために
今できることから始めてまいります。
今後とも一層のご指導ご厚情を、
お願い申し上げます。

青森県総務企画委員会委員
青森県議会運営委員会委員
青森県新幹線・鉄道問題対策特別委員会委員
青森県原子力・エネルギー対策特別委員会委員
青森県議会議員(2期)

丸井 ゆたか

一年間、商工労働エネルギー委員長を務めさせて
いただきました。ありがとうございました。

<http://marui-yutaka.com>

青森県基本計画未来への挑戦

青森県は、「青森県基本計画未来への挑戦 ～情熱あふれるふるさと青森づくり～」を策定しました。

この計画は2030年における青森県の目指す姿を掲げ、その実現に向けて今後5年間、青森県が取り組む内容等をまとめた未来創造型の計画です。

●産業・雇用分野(仕事づくりと所得の向上)

- 1 地域資源を最大限活用した産業基盤の強化と県外・海外との取引拡大
- 2 攻めの農林水産業を軸としたあおもり「食」産業の充実強化
- 3 多彩なエネルギーの利活用によるエネルギー産業クラスターの形成
- 4 「観光力」の強化による国内外との交流の拡大

●安全・安心、健康分野(命と暮らしを守る)

- 1 がんの克服を始めとした健康寿命アップの推進
- 2 健康を支える地域医療サービスの充実
- 3 子どもを産み育てやすい環境づくり
- 4 誰もが安心して暮らせる環境づくり
- 5 原子力施設の安全確保対策の推進
- 6 災害や危機に強い地域づくり
- 7 安心して快適に暮らせる生活環境づくり

●環境分野(低炭素・循環型社会の形成)

- 1 暮らしの中に息づく水と緑と美のふるさとづくり
- 2 持続可能な循環型社会づくり
- 3 次世代へつなぐ低炭素社会づくり
- 4 あおもりにエコを定着させる人・システムづくり

●教育、人づくり分野(生活創造社会の礎)

- 1 あおもりの未来をつくる人材の育成
- 2 あおもりの今をつくる人材の育成
- 3 文化・スポーツの振興



詳しくは、
青森県ホームページ
政策情報／青森県基本計画未来への挑戦
<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/seisaku/plan.html>



青森県議会定例会一般質問より

- 丸井議員 景気が上向かず、雇用の場もなかなかない現状を踏まえて、知事は平成22年予算をどのような考え方で編成したのか。



- 三村知事 新年度予算においては、引き続き県税収入等の厳しい状況が見込まれる中、行財政改革大綱に基づく財政健全化努力の徹底を図り、歳出面では喫緊の課題である雇用の創出に資する事業や東北新幹線全線開業に関する事業などに積極的な対応を図ることに努めます。

-
- 丸井議員 青森県基本計画で目指す一人当たりの県民所得向上(1.5倍)の現実に向け、本年度の取組方について。

- 三村知事 環境・エネルギー産業の振興の取組を観光キャンペーンの展開による誘客促進に向けて、本県の豊富な農林水産資源を生かした食品製造業の連携強化や技術力の向上を積極的に進め、外貨獲得と域内循環拡大を図っていきます。

-
- 丸井議員 国の土地改良の事業費削減は、農家へどのような影響があるか。

- 三村知事 土地改良区は、これまで国から助成を受けて農業水利施設等の整備や管理等を行っております。国の事業費削減に伴い、これらの助成金が減少すると予想される事から、施設の補修、更新を行う事業の遅れ、土地改良区が組合員から徴収する維持管理費の増加などが懸念されます。

●丸井議員 飼料用稲の生産振興、また利用拡大に向けての県はどのように取組むのか。

●三村知事 養鶏事業者や飼料メーカーにおける取引条件、農協における受け入れ体制や保管場所などの調整を行っているところであり、今後飼料用米等を大規模に生産し、大量に消費する取組が県内全域に広がるよう、稲作農家から養鶏事業者までの生産・流通体制の確立に向けた取組を支援いたします。

●丸井議員 国際観光に対する今後の取組方について。

●三村知事 重点市場と位置付けております韓国、台湾、香港につきましては、これまでの知名度向上や旅行商品増設促進の取組に加え、J R 東日本と連携し、現地のメディアを活用しながら、新幹線を使った旅行を積極的にPRしていきます。

●丸井議員 十和田湖境界決定による地方交付税増額分について。

〈報告〉 境界決定によって増額配分となったせっかくの地方交付税を県は既存の事業ばかりに再び充当していません。十和田湖の観光発展の為には新規事業を掲げることも必要であり、今一度青森県、秋田県、十和田市、小坂町の再協議を求めています。

●丸井議員 県立三本木高等学校附属中学校の教育環境の充実に向けた今後の取組について。

〈報告〉 県立三本木高等学校附属中学校の技術の授業について教室が狭いことから作業をする上で大きな危険を伴っており、また、部活動についても練習を十分行うことが難しいとの声が多数寄せられました。昨年より十和田市PTAの皆さんと施設整備の必要性を訴えてきました甲斐があり、平成23年3月完成を目指し整備される見通しです。

県政前進

語り合い、感謝、行動

活力と安心のために。

丸井ゆたかの更なる挑戦。



青森県南十和田市の「バラ焼き」
で当地グルメによるまちおこし。

～十和田バラ焼きゼミナールの飛躍～

昨年12月に八戸市の八食センターで開催されました東北B-1
グランプリ。初出場にもかかわらず十和田のバラ焼きが優勝と
いう見事な快挙を果たしました。今後は9月に神奈川県厚木市
で開催される第5回B-1グランプリ本選出場に、十和田市民
の多くの期待が寄せられています。

2010年12月新幹線
全線開業まで、十和
田のバラ焼きが青森
県へ、そして十和田
市へ観光客誘致の起
爆剤となりますよう、
これからも全面的に
協力していきます。





丸井ゆたかの政策

～あおもり進化論～



農業の確立

十和田市の強みである畜産との連携により、堆肥を有効活用し、国内外に誇る安全安心・高品質な「十和田ブランド」の確立を目指します。

観光・産業の振興と雇用対策

2010年12月開業の新幹線「七戸十和田駅」に向け、地元のおいしい特産品の提供と、風光明媚な十和田湖や奥入瀬溪流の景観のPRに努め、滞在型体験観光の推進に努めます。中小企業融資制度の充実に努めます。産業振興を図り、若年者の地元雇用対策の一層の促進に努めます。



福祉の充実

高齢者・障害者に優しい思いやりのある福祉社会を目指し、自立と助け合いによる地域社会の連携に努めます。

教育

次代を担う青少年の創造性豊かな人づくりと、教育・スポーツ振興に努めます。



皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町9-20

TEL0176-22-6600 FAX0176-22-1153

<http://marui-yutaka.com>

※Eメールでのお問い合わせは、上記ホームページのメールフォームにて受け付けております。